



物部 國 氏 氏  
氏 氏 氏 氏  
氏 氏 氏 氏  
氏 氏 氏 氏





...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...





















かきくみくひくしんか  
かきくみくひくしんか

かんか<sup>仕</sup>くひくしんか  
かんか<sup>仕</sup>くひくしんか

かんか<sup>仕</sup>くひくしんか  
かんか<sup>仕</sup>くひくしんか

かんか<sup>仕</sup>くひくしんか  
かんか<sup>仕</sup>くひくしんか

かんか<sup>仕</sup>くひくしんか  
かんか<sup>仕</sup>くひくしんか

かんか<sup>仕</sup>くひくしんか  
かんか<sup>仕</sup>くひくしんか

かんか<sup>仕</sup>くひくしんか  
かんか<sup>仕</sup>くひくしんか

かんか<sup>仕</sup>くひくしんか  
かんか<sup>仕</sup>くひくしんか

かんか<sup>仕</sup>くひくしんか  
かんか<sup>仕</sup>くひくしんか

かんか<sup>仕</sup>くひくしんか  
かんか<sup>仕</sup>くひくしんか

かんか<sup>仕</sup>くひくしんか  
かんか<sup>仕</sup>くひくしんか

かんか<sup>仕</sup>くひくしんか  
かんか<sup>仕</sup>くひくしんか

しんあひのたはまあるのまふ

まふのまふのまふのまふ

くしあひのまふのまふ

わひのまふのまふのまふ

まふのまふのまふのまふ

まふのまふのまふのまふ

まふのまふのまふのまふ

まふのまふのまふのまふ

まふのまふのまふのまふ

まふのまふのまふのまふ

まふのまふのまふのまふ

聖

ましままの物さる上巻 三

ままの花とさる下ひとさる礼

くさるよさる礼さる礼

くさるのさる下さる礼

たにさる礼さる礼

さる礼さる礼

さる礼さる礼

さる礼さる礼

のさる礼さる礼

さる礼さる礼

さる礼さる礼















ていふはつたてのうたをうたふ

うたをうたふはつたてのうた

うたをうたふはつたてのうた

うたをうたふはつたてのうた

うたをうたふはつたてのうた

うたをうたふはつたてのうた

うたをうたふはつたてのうた

うたをうたふはつたてのうた

うたをうたふはつたてのうた

うたをうたふはつたてのうた

うたをうたふはつたてのうた

うたをうたふはつたてのうた

うたをうたふはつたてのうた

是は八國の軍に對しては

三  
甲  
三  
く

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of dense, cursive script. The text is written in black ink on aged, yellowish paper. The script is highly stylized and difficult to decipher without specialized knowledge of the language and dialect. The lines are roughly parallel and fill most of the page area.



式一のあはれに  
あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに



まふ親まふのまふまふのまふまふ

海あのししのの根ねのの根ねのの根ね

まふまふののまふまふののまふまふののまふまふ

ししののまふまふののまふまふののまふまふ

まふまふののまふまふののまふまふののまふまふ

まふまふののまふまふののまふまふののまふまふ

可かののまふまふののまふまふののまふまふ

まふまふののまふまふののまふまふののまふまふ

まふまふののまふまふののまふまふののまふまふ

まふまふののまふまふののまふまふののまふまふ

まふまふののまふまふののまふまふののまふまふ

まふまふののまふまふののまふまふののまふまふ

薬  
の  
早  
の  
の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の























いづれかたがたのうらみ

よみおそしおほく

あはれおほく

あはれおほく

あはれおほく

あはれおほく

あはれ

あはれおほく

あはれおほく

あはれおほく

あはれおほく

あはれおほく

Handwritten text in red ink at the top of the left page.

Main handwritten text in black ink on the left page, written vertically from right to left.

Handwritten text in red ink on the left page, interspersed with the main black text.

Handwritten text in red ink at the top of the right page.

Main handwritten text in black ink on the right page, written vertically from right to left.

Small handwritten text or mark on the right edge of the right page.



Handwritten text in red ink at the top of the page, possibly a title or a specific note.

一六六の事りらむと決ぬるのくや

一七〇の事りらむと決ぬるのくや

一七四の事りらむと決ぬるのくや

一七八の事りらむと決ぬるのくや

一八二の事りらむと決ぬるのくや

一八六の事りらむと決ぬるのくや

一九〇の事りらむと決ぬるのくや

一九四の事りらむと決ぬるのくや

一九八の事りらむと決ぬるのくや

二〇二の事りらむと決ぬるのくや

二〇六の事りらむと決ぬるのくや

二一〇の事りらむと決ぬるのくや

Handwritten text on the right margin.

Handwritten text on the right margin.

あはれんていふことなかりけり

あはれんていふことなかりけり

あはれんていふことなかりけり

あはれんていふことなかりけり

あはれんていふことなかりけり

あはれんていふことなかりけり

あはれんていふことなかりけり

あはれんていふことなかりけり

あはれんていふことなかりけり

あはれんていふことなかりけり

あはれんていふことなかりけり

あはれんていふことなかりけり

せん

七

























つし梅ゆいれ箱酒くひん

くししろ物いぢがふむ糸本

そ布れまうしひまきもてん

ぞとよまも也流しぬよあ

痛 ちくしし色は理りもわらへ

ちんちんちんちん何んちんちん

ぼん。園んまは母と捨人のまん

かろしり糸よそじひ綿あや細

ぬのまろもまぬの押りなり

かあ白乃角んまも相と綿本

細ぬのしひひらにまも

なみ 子句 中ころのまもあや

と数方綿本と目しんそら

細布荒の目しんそら

くまの目しんそら

わひの目しんそら

よ色名の目しんそら

ふく目の目しんそら

くまの目しんそら

布目の目しんそら

布目の目しんそら

洗目の目しんそら

川の目しんそら

木の目しんそら

錦本洞布のしほまほ地流し着

錦本洞布のしほまほ地流し着

錦本洞布のしほまほ地流し着

錦本洞布のしほまほ地流し着

錦本洞布のしほまほ地流し着

錦本洞布のしほまほ地流し着

錦本洞布のしほまほ地流し着

錦本洞布のしほまほ地流し着

錦本洞布のしほまほ地流し着

錦本洞布のしほまほ地流し着

錦本洞布のしほまほ地流し着

錦本洞布のしほまほ地流し着



くさくさつりく <sup>下</sup>かきく

ゆきゆきん <sup>下</sup>かきく

くさゆの者ん <sup>下</sup>かきく

さまたしつ <sup>下</sup>かきく

く綿つ <sup>下</sup>かきく

く <sup>下</sup>かきく

や道 <sup>下</sup>かきく

か <sup>下</sup>かきく

か <sup>下</sup>かきく

く <sup>下</sup>かきく

く <sup>下</sup>かきく

く <sup>下</sup>かきく





つゝ若く歌にほもほひも是後  
も現るる言女もさくらん人の如くは  
小つらな現るる言三もさくらん人  
よ業平と世ひの言もさくらん人

現るる言もさくらん人の如くは  
小つらな現るる言もさくらん人  
よ業平と世ひの言もさくらん人

若く歌にほもほひも是後  
も現るる言もさくらん人の如くは  
小つらな現るる言もさくらん人  
よ業平と世ひの言もさくらん人





つるぐりしもは日まらうのひき合ひ中  
 なる地をせがくはくもせ坊のまらうとせ  
 略ありありとくもやまらのめくも合ふ年  
 紅乃綿本が子なよまき洗よ我も  
 由よまきとの綿本を先し移め人を袖の流  
 かへぬらういそがきとるはあぬえ海ら

とせせハみらぬわつまあつまかや  
 綿本はるがかりはあぬえ今とるは  
 らまぬ園乃ゆかんめ 城やあこひわむ  
 ろとるまのまおとくからとる舞の袖本く  
 綿本とまひひくくくくくくくくくく  
 のあくいらまの綿本 大洞布の

此本者觀世左近守  
以章句鳩之并加當流  
秘密悉令改正者也  
千時貞享三丙寅年孟春吉辰  
寺町通二條上町  
末田平次新刺

此本者觀世左近守  
以章句鳩之并加當流  
秘密悉令改正者也  
千時貞享三丙寅年孟春吉辰  
寺町通二條上町  
末田平次新刺

末田平次新刺



此本者觀世左近守  
以章句鳩之并加當流  
秘密悉令改正者也  
千時貞享三丙寅年孟春吉辰  
寺町通二條上町  
末田平次新刺書

此本者觀世左近守  
以章句鳩之并加當流  
秘密悉令改正者也  
千時貞享三丙寅年孟春吉辰  
寺町通二條上町  
末田平次新刺書

末田平次新刺書

